

## 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標(案)とアプローチ(三島二次医療圏)

## ●将来のあるべき姿の到達度を測定する指標(案)について

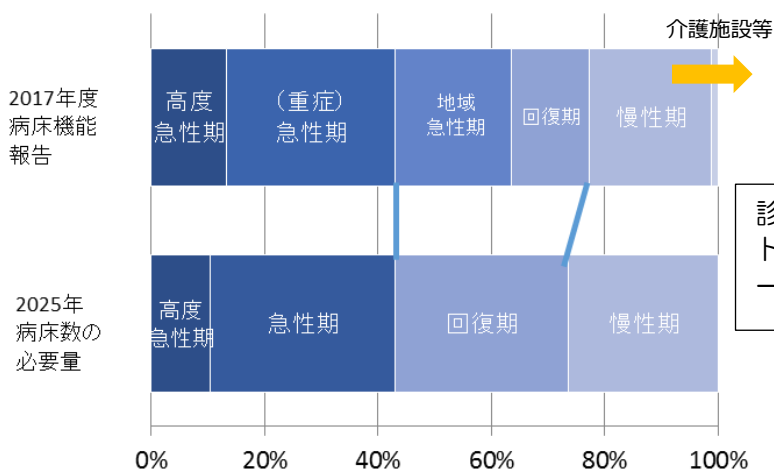
将来のあるべき姿の到達度を測定する指標として、「将来にむけて回復期への転換が必要な病床」を設定し、今後、地域医療構想の進捗状況をモニタリングする。

病床機能報告の最終集計から、病床数の必要量における「回復期機能を担う病床数」は、一定確保されていると推計

## ○病床機能報告(2017年度)と病床数の必要量(2025年)の比較

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	合計	【備考】 未報告等	
			(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期						
病床機能報告(病床数)	2017	887	3,337	1,970	0	1,367	913	1,426	84	6,647	20
				1,970		2,280					
				29.6%	0.0%	20.6%	13.7%				
病床機能報告(割合)	2017	13.3%	32.5%	29.6%	0.0%	34.3%	21.5%	1.3%	100.0%		
		↓2.9%		↑2.9%			↓5.0%				
病床数の必要量(割合)	2025	10.5%	32.5%			30.6%	26.4%		100.0%		
【参考】病床数の必要量(2017年度報告病床数に対する病床数)	2025	697	2,160			2,032	1,758		6,647		
【参考】病床数の必要量(2013年の需要をベースとした病床数)	2025	956	2,961			2,786	2,410		9,113		

病床機能報告(地域急性期+回復期)  
と病床数の必要量(回復期)の  
割合の差 ▲3.7%



診療実態分析からは、回復期機能(サブ・アキュート・ポストアキュート・リハビリ)を有する病床は一定確保されていると考えられる。

**【参考】病床の介護施設への転換が「病床数の必要量」に及ぼす影響**

○2017 年度病床機能報告における介護療養病床（71床）が介護医療院等へ転換した場合の病床機能報告（2017年度）と病床数の必要量（2025年）の割合の比較は下記のとおり。

区分	年度	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	休棟等	合計	【備考】未報告等	
			(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期						
病床機能報告(病床数)	2017	887	3,337	1,970	0	1,367	913	1,355	84	6,576	20
				1,970		2,280					
病床機能報告(割合)	2017	13.5%	30.0%	0.0%	20.8%	13.9%	20.6%	1.3%	100.0%		
		↓3.0%	30.0%	↑2.5%	34.7%	30.6%	26.4%	↑5.8%			
病床数の必要量(割合)	2025	10.5%	32.5%			30.6%	26.4%		100.0%		
【参考】病床数の必要量(2017年度報告病床数に対する病床数)	2025	690	2,137			2,010	1,739		6,576		

**【参考】**  
**病床機能報告(地域急性期+回復期)と病床数の必要量(回復期)の割合の差 ▲4.1%**

**【参考】病床機能報告（2017年度暫定集計）と病床数の必要量の比較**

●病床機能報告と病床数の必要量の比較

区分	年度	高度急性期	急性期	(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期	回復期	慢性期	休棟等	未報告等	合計
病床数の必要量	2013	852	2,255				1,944	1,895			6,946
病床機能報告	2014	947	3,296				858	1,494	15	121	6,731
病床機能報告	2015	957	3,193				886	1,545	74	37	6,692
病床機能報告	2016	942	3,214				811	1,524	79	84	6,654
病床機能報告	2017	887		1,872	588	866	913	1,426	84	31	6,667
病床数の必要量	2025	956	2,961				2,786	2,410			9,113

合計 3,326

区分	年度	高度急性期	急性期	(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期	回復期	慢性期	休棟等	未報告等
病床機能報告	2017	13.4%		28.2%	8.9%	13.1%	13.8%	21.5%	1.3%	—
病床数の必要量	2025	10.5%	32.5%				30.6%	26.4%		

**サブアキュート・ポストアキュート・リハビリ機能の現状と将来の予測**

①病床機能報告

地域急性期+回復期 26.8%

②病床数の必要量（2025年）

回復期 30.6%

**割合の差 3.8%**